

電子工学科			国語				
学年	第2学年	担当教員名	小田島本有				
単位数・期間		3単位	通年	週当りの開講回数	2回	必修	履修単位
授業の目標と概要		近年、コミュニケーション能力の養成が従来以上に重視されつつある。この授業ではその基礎力を養うことを主眼とし、「読む」「書く」ことの徹底と、そのうえに「話す」「聴く」ことの訓練を進めていきたい。					
		釧路高専目標	A:30%,F:70%		JABEE目標		
履修上の注意 (準備する用具・前提となる知識等)		教科書、ノートはもちろんのこと、この他に国語辞典、漢和辞典、国語便覧はいつも持参すること。毎週、表記トレーニングを行うのでそれは必ず提出する事。こちらで添削後各自に返却するが、自己チェックの甘い学生には再提出を求めるのでそれを忘れないこと。					
到達目標		コミュニケーションの能力を養い、「読む」「書く」「話す」「聴く」それぞれの能力を総合的に生かすことができる。また、教材を通じて人類の文化に触れ、幅広い視野に立って物事を捉えることができる。					
成績評価方法		試験(80%)・提出物(20%) なお、夏休み課題の読書レポートは単位取得の必須条件となっており、全員の提出が義務付けられている。					
テキスト・参考書		テキスト:『高校生の国語総合』(明治書院) 1年生からの継続 『新現代文 改訂版』(大修館書店) 新しく購入 参考書:『カラー版 新国語便覧』(第一学習社) 大野晋『日本語練習帳』(岩波新書) 小田島本有『釧路からー国語教師のメッセージー』(釧路新書)					
メッセージ		授業を面白くさせるための努力をしてほしい。授業に遅れたり、勝手に休んだりしないのはもちろんだが、こちらからの質問にはしっかり考えて答える姿勢を見せること。一人一人の心がけしだい授業は面白くもつまらなくもなる。					
授 業 内 容							
授業項目				授業項目ごとの達成目標			
ガイダンス(概説、文章の基礎知識)(2回) 「羅生門」(芥川龍之介)(5回) 表記トレーニング(5回) 聴き取りトレーニング(3回)				原稿用紙の正しい使い方ができる。 芥川龍之介の小説が理解できる。 正しい漢字が書ける。 メモによって内容を把握し、要約できる。			
前期中間試験				実施する			
「その子二十」(与謝野晶子・石川啄木)(3回) 「昔、男ありけり」(4回) 表記トレーニング(7回)				代表的歌人の短歌を味わうことができる。 伊勢物語の世界を味わうことができる。 正しい漢字が書ける。			
前期期末試験				実施する			
「ナイン」(井上ひさし)(4回) 「孔子泰山の側を過ぐ」(4日) 表記トレーニング(5回) 聴き取りトレーニング(3回)				小説の深い読み取りができる。 漢文の文体を味わうことができる。 正しい漢字が書ける。 メモによって内容を把握し、要約できる。			
後期中間試験				実施する			
「山月記」(中島敦)(7回) 表記トレーニング(7回)				小説の深い読み取りができる。 正しい漢字が書ける。			
後期期末試験				実施する			